

■伊藤圭介 蘭方医。シーボルトに出会い、西洋植物学を学んで近代化に挺身、維新後も長寿を保ち日本植物学の祖に。

いとうけいすけ

7月1日船来航始1803= 名古屋呉服町の代々長寿の家系の名家で、後に藩の御目見医師となる西山玄道の次男に生まれ、

のち父の旧姓伊藤に復する。

・・・・・・1810= 7歳：父から医学を学び始める。

高田屋拿捕・1812= 9歳：

水野忠成老中1818=15歳：この頃から、父兄や師に従って近傍諸州に植物採集に出かけ、

・・・・・・1820=17歳：藩の允許を得て医業を開き、

伊能図完成・1821=18歳：京都に出て藤林晋山について洋学を修め、解剖に参加したり、植物採集をして、

英船浦賀来航1822=19歳：帰郷。

異国船打払令1825=22歳：結婚。

・・・・・・1826=23歳：シーボルトが参府の途次熱田に泊まった際に彼を訪問して質疑したことから、勧誘され、

日本外史・・1827=24歳：自宅で最初の薬品会を開いた後、長崎に赴き、シーボルトに師事して植物学等を学び、

シーボルト事件・1828=25歳：\*帰郷、「勾玉考」をオランダ語で書いてシーボルトに献じる一方、別れる際に贈られたツンベルクの「日本植物誌」(Flora Japonica)を翻訳研究、これを基礎として、

シーボルト追放・1829=26歳：「泰西本草名疏」4巻3冊を著わし、これにリンネの「植物分類式」を訳述して付録とし、「二名法」を日本に初めて紹介した。以来西洋植物分類学を唱え、名古屋の本草家の同好会嘗百社の研究活動の中心となる。

富籤流行・・1830=27歳：

天保大飢饉始1833=30歳：名古屋近傍で異獣を捕獲して洋名を考定する一方、〈天保の大飢饉〉が始まると「救荒本草私考」を執筆、

1男4女が次々誕生、

大塩平八郎乱1837=34歳：「救荒食物便覧」を刊行、板木を藩主が買い上げて近傍諸国に頒布され、

適塾ホーン・1838=35歳：江戸大火復興のための木曾松納入団の医師として出張し、珍草・奇草を採集する間、長女が死去、

蛭社の獄・・1839=36歳：次女が死去、

勧進帳初演・1840=37歳：妻まで死去するという不幸に見舞われたが、

天保改革始・1841=38歳：「英吉利国種痘奇書」を校刻して牛痘法を紹介した。

順天堂始・・1843=40歳：父が死去。再婚。

天保改革終・1844=41歳：五女が誕生する一方、重病に罹る。

阿部正弘首座1845=42歳：

・・・・・・1847=44歳：藩主の御用人支配医師に任じられて、正式に藩医となり、

・・・・・・1848=45歳：

北斎没・・1849=46歳：五女らに牛痘を施し、

国定忠治疎・1850=47歳：自宅に種痘所を設けて施術。

万次郎帰国・1852=49歳：母が死去。藩が設置した種痘所の取締役となった。

ペリー来航・1853=50歳：砲術や硝石など広く実用的な献策を行なう。

松下村塾・・1856=53歳：四女を、

蕃書調所・・1857=54歳：長男を相次いで失う不幸に見舞われる。

安政の大獄・1859=56歳：\_(洋学館)総裁に任じられ、

桜田門外変・1860=57歳：

遣欧使節・・1861=58歳：\_幕府に招かれて江戸に上り、蕃書調所に出仕、

生麦事件・・1862=59歳：\_物産局教授となったが、

8月18日政変1863=60歳：\*辞して名古屋に戻り、

\_以後、幕末の動乱の中、藩主に従って行動。

薩長同盟・・1866=63歳：

明治維新・・1868=65歳：

初の日刊新聞1870=67歳：\_新政府から呼び出され、

廃藩置県・・1871=68歳：\*文部省に出仕、

明治6年政変1873=70歳：「日本産物志」の編纂に従事して刊行。学界の諸名士とはかって{洋々社}を設立して{洋々社談}を発刊、

佐賀の乱・・1874=71歳：\_文部省を辞した。

初の民間工場1875=72歳：

西南戦争・・1877=74歳：\_(第一回内国勸業博覧会)の審査官を務めた後、東京大学理学部員外教授に任じられ、

\_以後専ら{小石川植物園}を担当して「小石川植物園草木目録」をまとめ、

琉球処分・・1879=76歳：「本邦博物学起源沿革説」を寄稿、

・・・・・・1880=77歳：後妻が死去する一方、スウェーデン国王立学士会院から銀牌を贈られ、

明治14年政変1881=78歳：\_東大教授に任じられた。{小石川植物園}関連の著作を刊行する間、

新体詩抄・・1882=79歳：\_矢田部良吉らと{東京植物学会}を創設、

秩父事件・・1884=81歳：「本邦博物学起源沿革説」「有毒植物集説」、

帝国大学始・1886=83歳：学制改革で非職となる。

初の対等条約1888=85歳：\_最初の理学博士となった。なお長寿を保って、講演・執筆・旅行等活発に行ない、

Bushidou・・1899=96歳：\*雑誌{太陽}記念特集「明治十二傑」の一人に選ばれて、

田中正造直訴1901=98歳：\_没した。

吉川弘文館人物叢書、「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、「目でみる日本人物百科」、